

「元気発進！子どもプラン(第3次計画)」(案)を 読んでくれて、ありがとうございました。

読んでみて、何を感じましたか。「こうしたらもっと楽しいな・うれしいな」「こうしたら困っている人がもっと助かるな」など、ありましたか。

あなたの意見が、北九州市をもっと笑顔いっぱいのまちにするきっかけになるかもしれません。

計画に書かれていることでもそうでなくても、どんなことでもいいので、あなたの意見をぜひ教えてくださいね。

あなたの意見を伝える方法について

○住所・名前・年齢・性別・あなたの意見を書いて、
次のどれかの方法で提出してください。

- ① 電子メール …電子メールアドレス：kod-soumu@city.kitakyushu.lg.jp
- ② ゆうびん …〒803-8501 北九州市小倉北区内1番1号
北九州市子ども家庭局総務企画課 子どもプラン担当
- ③ ファクシミリ…FAX番号：093-582-0070
北九州市子ども家庭局総務企画課 子どもプラン担当
- ④ 次の場所のどこかに持っていく
子ども家庭局総務企画課（市役所本庁舎11階）・
広報室広聴課（市役所本庁舎1階）・区役所総務企画課

○書く紙は、どんなものを使っても大丈夫です。

○令和元年9月9日(月)から令和元年10月8日(火)までに提出してください。

○このリーフレットがもっとほしい場合、次のところで受け取れます。

- ① 子ども家庭局総務企画課（市役所本庁舎11階）
- ② 広報室広聴課（市役所本庁舎1階）
- ③ 区役所総務企画課
- ④ 出張所
- ⑤ 市民センター
- ⑥ 市ホームページ <https://www.city.kitakyushu.lg.jp/>

問い合わせ先

北九州市子ども家庭局^{そうむきかくか}総務企画課 子どもプラン担当
電話：093-582-2280 FAX：093-582-0070
電子メールアドレス：kod-soumu@city.kitakyushu.lg.jp

子ども用



みんなが住むまち・北九州市では、子どもたちのための計画を作っています。

あなたが生まれてきてから、だんだんと大きくなって大人になるまで、あなたやあなたのまわりのみんなが、ずっと笑顔でいられるように、どんな計画を作ったらよいか、あなたの意見を教えてもらえるとうれしいです。

北九州市は、みんなの笑顔があふれるまちになるように、5つの目標をたてました。
～子どもプランの主役は、「あなた」です！～

① お母さんが安心して赤ちゃんをうんで 赤ちゃんがすくすく育つようにします。



- 赤ちゃんのお世話ができるようにミルクのあげ方やお風呂の入れ方などを学べる場所をつくります。



- お医者さんやまわりの人に、赤ちゃんのことを何でも相談できるようにします。
- 熱が出たり、けがをしたりしても、すぐ、お医者さんにみてもらえるようにします。

② 毎日楽しくすごせるようにします。

- 保育所や幼稚園をもっといい場所にします。



- 放課後児童クラブ（学童保育）や公園をもっと楽しい場所にします。
- いろいろな年れいの子と遊んだり、自然の中でのびのび遊べるようにします。
- わくわくする新しいプラネタリウムを作ります。



- キャンプやボランティア活動をして、いろいろな体験ができるようにします。
- わるいことにまきこまれないように、近所の大人の人が守ってくれるようにします。
- いろいろなことがうまくいかなくても、立ち直れるようにします。
- 学校でいやなことがあったり、学校に行きたくないと思ったときでも、すぐ相談できるようにします。
- スマートフォンなどの安全な使い方を学べるようにします。



③ 困っている子どもがいなくなるようにします。

- 親子でくらすなくても、お父さんやお母さんの代わりになってくれる人と楽しくすごせるようにします。
- 心や体が傷つかないように、みんなで助け合えるようにします。
- 障害のある子もない子も、どんな家庭でも、みんな笑顔ですごせるようにします。

⑤ 安全・安心にくらせるようにします。

- 安全に歩ける道を増やします。
- みんなが安心して、家に住めるようにします。
- 安心して学校に行けるように、みんなで通学路を見守ります。
- 災害があったときでも、安心してすごせる場所をつくります。

④ いつでも親子が楽しくいられるよう、お父さんやお母さんを応援します。

- 外で、おっばいやミルクをあげられる場所やおむつ替えができる場所を増やします。
- お父さんやお母さんが楽しくお話したり、仲間を増やしたりできる場所をつくります。
- お父さんやお母さんを応援してくれる人を増やします。
- 困っているお父さんやお母さんが相談できる場所をつくります。
- お父さんやお母さんが仕事と子育て、両方楽しめるようにします。

